

やしお市民大学 やしお市民大学大学院 学生募集

八潮のまちを知りたい方、まちづくりに参加してみたい方の応募をお待ちしています。☎社会教育課 ☎397



やしお市民大学9期生から寄せられた感想

- ・八潮市のことが一つ一つわかってくるとますます愛着がわいてきました。
- ・授業の内容が多岐にわたり、目からウロコの新知識を授かりました。
- ・授業は公共施設見学、行政の現状、学外研修、健康に関すること等々、難しい講義もありましたが、頭の体操ができていく感じがします。
- ・知る楽しさや新しい出会いに心と身体がリフレッシュしたように感じます。

	やしお市民大学 第10期生	やしお市民大学大学院 第6期生
期 間	5月～平成25年3月 (毎回土曜日・全30回) 午後1時30分～3時30分 <small>※2学年は平成25年5月～平成26年3月を予定</small>	5月～平成25年2月 (毎回土曜日・全11回) 午前9時30分～11時30分
場 所	やしお生涯学習館・八潮メセナなど	やしお生涯学習館・八潮メセナなど
対 象	市内在住・在勤で、年間を通じて学習できる向学心と協調性のある方 (小中学生を除く)	やしお市民大学卒業生
内 容	〈1学年〉総合計画・商工業観光・ごみ問題の現状・地球環境問題・八潮の歴史・スポーツ体験・副学長講話など 〈2学年〉財政・環境・ボランティア活動・地域とコミュニティ・学長講話・自治基本条例・自主研究など	指導者とのゼミ5回、自主研究5回、研究発表会(公開)1回
在学期間	2年間(学習課程で、3分の2以上の単位を取得した方には、卒業を認定)	1年間(論文、研究発表を総合的に評価し、修了を認定)
定 員	1学年(10期生)30人	15人
費 用	1学年につき1万円	1万円
申し込み	4月2日から16日までに費用を添えて、社会教育課窓口へ	

国民健康保険からのお知らせ

☎国保年金課 ☎825

高額な外来診療を受ける皆さんへ



高額な外来診療を受けたとき、これまでは、ひと月の窓口負担が自己負担限度額以上になった場合でも、いったんその金額をお支払いいただき、後で医療保険者から高額療養費としてお返ししていましたが、4月1日からは、医療機関などの窓口**に限度額適用認定証など(※)**を事前に提示すれば、限度額を超える分を支払う必要はなくなります。

また、保険薬局、指定訪問看護事業者についても同様の取り扱いを受けることができますようになります。

限度額適用認定証などは、加入する医療保険者へ事前に申請し、交付を受ける必要があります。申請方法、自己負担限度額など、詳しくは、ご加入の医療保険者にご相談ください。

※限度額適用認定証

- ▼70歳未満の方、70歳以上の非課税世帯の方
「限度額認定証」または「限度額適用・標準負担額減額認定証」
- ▼70歳以上75歳未満で非課税世帯等ではない方
「高齢受給者証」
- ▼75歳以上で非課税世帯でない方
「後期高齢者医療被保険者証」

＜八潮市国民健康保険・後期高齢者医療被保険者のかたへ＞ 特定健康診査・健康診査の実施期間が変わります!!

平成23年度		平成24年度
40歳～64歳	4月1日～11月30日	4月1日～11月30日
65歳以上	6月1日～11月30日	
後期高齢者医療制度	6月1日～11月30日	

※健診について詳しくは、広報やしお4月号および個別通知をご覧ください。

八潮産農産物・学校給食などの放射能濃度測定を始めました

☎東北地方太平洋沖地震緊急対策担当 ☎351

市では、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の飛散に伴い、市民の皆さんの不安を解消するため、公園や公共施設などの除染を行い、空間放射線量の低減を図ってきました。

今後も放射線対策を行うとともに、「八潮市農産物等放射能濃度測定業務に関する方針」を定め、3月1日からは内部被ばくに対する食品の安全性確保のため、市内で生産された農産物および小中学校や保育所の給食食材を簡易型放射能濃度測定器で、放射能濃度測定を始めました。

その結果は、市ホームページで公表しています。



放射能濃度測定器

※市内全域における放射線量の測定結果は、ホームページなどでご覧下さい。